



岡 津



令和2年度のキーワード
「つなぐ^{x3} そして、もっとその先へ・・・」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>



学校だより 3月号
令和3年2月26日
横浜市立岡津小学校
校長 宮路 ますみ
TEL 811-4104
FAX 812-4586

アートから広がる学び

校長 宮路 ますみ

校庭の梅の花が一輪、また一輪と咲き、春がどんどん近づいてきていることを感じさせてくれます。後期もいよいよ大詰め。あと一月となりました。

1月から2月の初旬にかけて、4学年の子どもたちと一緒に図工の授業を行う機会をいただきました。絵画の授業を行ったのですが、これまでにない技法に取り組んでもらうことにしました。子どもたちは、初めての経験に緊張し、戸惑いながらも一生懸命取り組んでいました。結果として、どのクラスも素晴らしい作品が出来上がり、児童の振り返りカードには「今までで一番上手に描けた！」と充実感を味わった感想が多く、たいへん嬉しく思いました。中でも、私の心に残ったメッセージが幾つかありました。1組のYさんは「うまくできたところもできなかったところも含めて楽しかったなと思いました。」と綴っています。毎時間、自分の表現のできたところ、満足できなかったところを振り返り、包括した上で自分自身の成長を感じています。すべてが貴重な経験だったと自己肯定できているところが素敵だと思いました。2組のOさんは、「『初めて』は怖いけれど、作品を作り終えた時の達成感を忘れないで、これからも『初めて』に挑戦したいと思います。」と綴っています。失敗を怖がる現代の子どもたちは、冒険することを好まない傾向があります。いつも同じやり方で、同じような色で、同じような表現をする。それは一見その人の個性のように思えますが、見方を変えれば、それは一つの見方・やり方に固執して、自分自身の可能性を狭めてしまっているともいうことができるでしょう。新しい世界に足を踏み出す勇気を持ち、果敢にトライする子どもたちを育てたい。そう、心から思います。3組のYさんは、「難しくてもだからこそ綺麗な作品ができました。」と述べています。高い壁を越えたその先には、自分が想像もしなかったような素晴らしい世界が広がっている。だからこそ、辛くても頑張ってその壁を越える。そのような力強い意気込みが感じられ、頼もしく思いました。

海外では、アートの授業というと実際に絵を描いたり工作を作ったりすることはほとんどなく、鑑賞が多いそうです。実際に美術館に出かけ、本物の作品を前にして、自分なりにその作品のテーマを読み解き、自分は何を感じたかを論じるそうです。そうした学習を積み重ねることで読解力や観察力が培われていくのです。美しいもの、価値のあるものを目の前にした時、人は感動し、心を揺さぶられ、その感動を他の人に伝えようとします。そうした日常の営みが人の心を豊かにしていくのでしょうか。私たちは、そのような学びを目指していかなければならないのだと、4年生との授業を通じて、改めて実感しています。

令和2年度、コロナ禍の中で難しい判断を迫られることが多く、保護者の皆様・地域の皆様のご理解・ご協力なしでは学校運営を行うことができませんでした。皆様に深く感謝を申し上げますとともに、令和3年度も新たな高みを目指して邁進していく所存です。変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。